

中枢神経系の機能再建への挑戦 ～神経疾患の新たな治療戦略を目指して～

従来、脳や脊髄を始めとする中枢神経系は一旦損傷を受けるとその再生・修復は難しいとされており、それ故に中枢神経系を侵す疾病では様々な後遺症が残りやすく難治であると考えられてきました。

しかし、近年の脳神経科学研究では、このような従来の考えをくつがえす様々な知見が得られており、中枢神経系は以前考えられているよりもはるかに柔軟に、かつダイナミックに変化しうることが明らかになっています。

本セミナーでは、最先端の研究者の先生方をお招きして、神経疾患に対する最新の治療戦略についての脳神経科学研究の最先端の知見をご講演いただきたいと考えています。

日時：平成27年8月29日（土曜日）13：00～16：30

場所：大阪大学 中之島センター

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53

主催：AMED（障害者対策総合研究開発事業）「近赤外分光装置によるニューロフィードバック技術を応用した脳卒中及び神経難病の機能改善に寄与する新しいリハビリテーションシステムの開発（主任研究者：望月秀樹）」

～プログラム～

13：00-13：05

開会の辞

大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学 教授 望月 秀樹 先生

13：05-13：45

神経科学的視点から見たニューロリハビリテーション

社会医療法人大道会 森之宮病院 院長代理 宮井 一郎 先生

13：45-14：20

神経機能イメージングを用いた神経疾患の治療戦略

大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学 三原 雅史 先生

14：30-15：30

神経機能イメージング技術でみる脳の可塑的变化

（独）国立精神・神経医療研究センター

脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部長 花川 隆 先生

15：30-16：30

霊長類の運動機能制御機構と損傷後の機能再建に関して

自然科学研究機構 生理学研究所

発達生理学研究系 認知行動発達機構研究部門教授 伊佐 正 先生

